

# 大分港港湾計画 一部変更

前回改訂: 2006年11月(目標年次: 2020年代前半)

令和元年11月19日  
交通政策審議会  
第77回港湾分科会  
資料1-2



- <凡例>
- 県道・市道
  - 国道
  - 高速自動車道



# 計画変更の内容

## 【計画変更のポイント】

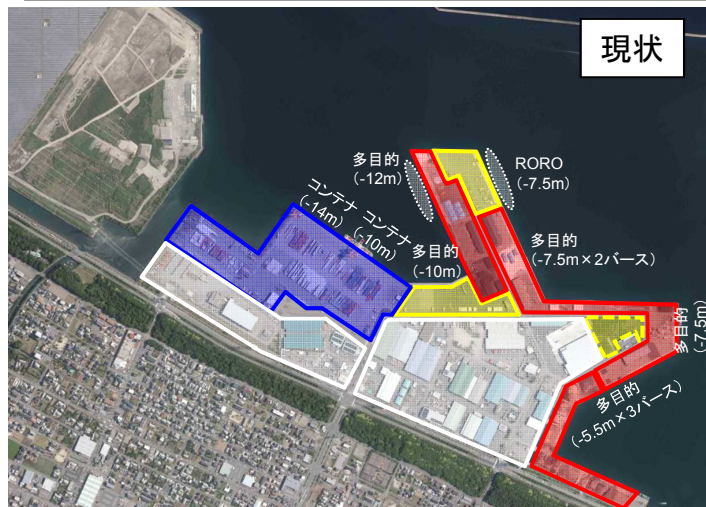
増大するRORO貨物の需要に対応し、国内複合一貫輸送網の強化を図るため、新規埠頭や臨港道路等の計画を変更する。

## 【前回改訂からの状況変化】

- RORO船の便数・貨物量の想定以上の増加  
→シャーシ置場等の用地不足

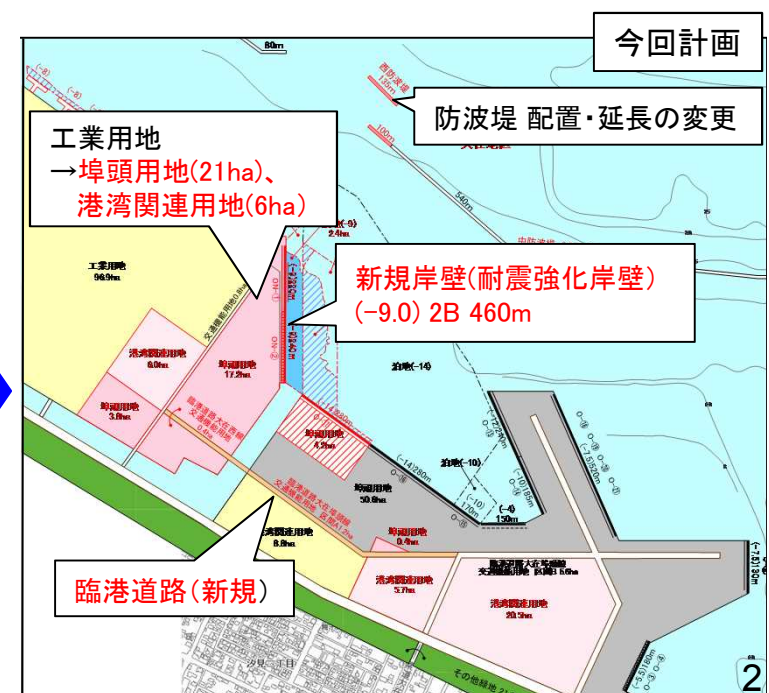
## 【主な計画変更内容】

- 岸壁（水深9.0m）2バース 440m〔大在地区〕  
→岸壁（水深9.0m）2バース 220m, 240m〔大在西地区〕  
※耐震強化岸壁
- 泊地（水深9.0m）2.4ha
- 臨港道路（新規）
- 土地利用 工業用地→埠頭用地（21ha）、港湾関連用地（6ha）



### 【凡例】

- : コンテナターミナル
- : シャーシ置場
- : ばら積み貨物
- : 保管施設 倉庫





# RORO航路の状況

## 【RORO航路の就航状況・予定】

①東京航路  
 航路:大分→東京→御前崎→博多→大分  
 便数:3便/週  
 経緯:2017年11月就航(2便/週)  
 2019年4月増便(3便/週)

②清水航路  
 航路:大分→清水→大分(常陸那珂港にも週1便寄港)  
 便数:6便/週  
 経緯:2016年10月就航(3便/週)  
 2018年3月増便(6便/週)

<予定>

③関西航路  
 航路:大分→細島→関西→大分  
 便数:3便/週  
 経緯:2020年以降就航予定  
 ※就航後3~5年後にRORO船の大型化を検討

## 【RORO貨物の主な内容(2018年)】

東京航路  
 移出【73万トン】:樹脂製品、自動車部品、農産物(肉・ジャガイモ)  
 →神奈川、東京、千葉へ  
 移入【48万トン】:プラスチック(レアメタル抽出用)  
 →大分へ

清水航路  
 移出【183万トン】:紙製品、農水産物(魚・肉・果物)、飲料(焼酎)  
 →静岡、群馬、神奈川、東京、千葉へ  
 移入【194万トン】:自動車部品、飲料(水)  
 →北部九州へ

